

会議名称	平成28年度 第1回 倉吉市国民健康保険運営協議会	
開催日時	平成28年7月28日(木) 午後1時30分～2時35分	
開催場所	倉吉市役所 大会議室	
内 容	1 委嘱状交付 2 会長及び会長代理の選出 3 報告事項 ① 倉吉市国保事業概要について ② 平成27年度国保事業決算について ③ 平成28年度国保事業について ④ 国民健康保険制度改革について 4 その他	
出席者	○出席委員12名(欠席委員4名)…過半数の出席により、会議は成立。 〈出席委員〉 廣戸委員、山口委員、池谷委員、中林委員、松田委員、福嶋委員、 加藤委員、栗原委員、伊田委員、入澤委員、美船委員、笠見委員 〈欠席委員〉 北村委員、野田委員、桑名委員、深松委員	
	所管部課名	保険年金課
公開非公開の別	公 開	
【会議の概要】 1 開 会 2 委嘱状交付 3 委員の紹介 4 市長あいさつ [石田市長] 昨年国保の状況は、高額な肝炎の治療薬が発売されたということで、飛躍的に医療費が伸びて、財政的には非常に厳しい状況が生じたが、補正予算を組み対応した。これは一時的なものだったが、インフルエンザの流行や新薬により、突然会計的には厳しくなる状況もあり、そのようなこともあり、財政規模を大きくして対応する対応策として、平成30年度から国保財政を都道府県に移行するという制度改正が行われた。まだ具体的なことが決まらず課題が多いが、平成30年度に向けてしっかりと取り組んでいきたい。 国保事業は、国民皆保険のベースラインを担う非常に重要な制度であり、責任を持ちながら、しっかりと運営に努力したい。 ～ 市長退席 ～ 5 会長及び会長代理の選出 国民健康保険法施行令により「公益を代表する委員」の中から全委員で選出することとなっている。選出方法について、事務局一任で了承。		

〔事務局〕 会長には自治公民館連合会会長の笠見 猛委員。

会長代理には、民生児童委員協議会副会長の伊田充雄委員にお願いします。  
委員全員の拍手により承認を得る。

## 6 会長あいさつ

〔会 長〕 笠見会長あいさつ

## 7 議事録署名委員の決定

〔会長が指名〕 廣戸直登委員、松田 隆委員

## 8 報告事項

(1) 倉吉市国保事業概要について

(2) 平成27年度国保事業決算について

(3) 平成28年度国保事業について

〔事務局〕 報告(1)～(3)を一括して会議資料に基づき説明

### 【質疑】

〔委 員〕 C型肝炎の治療の対象者数と医療費の今後の見込みは。

〔事務局〕 肝炎公費医療助成の対象者が、国保で約30名おられて、昨年度の国保の医療費としては肝炎治療薬の影響以外も含めて当初予算対比で約2億円の増加となった。

今後の見込みは不明だが、治療薬の効果でほぼ完治しているようで、医療費の増加は収まっている。

〔委 員〕 財政調整基金の取崩しで対応したが、基金残高が減って問題はないか。

〔事務局〕 昨年度末で基金は2億8千6百万円となった。基金の保有額として保険給付費の約5%程度を目安としており、現在の保険給付費に対しては約2億5千万円となる。

〔委 員〕 平成30年度の国保の広域化に向け基金を保有しておく必要はないのか。

〔事務局〕 基金は、今までどおり財源不足に備え市町村で保有してよいことになっている。

〔委 員〕 今年度、予算どおり基金を取り崩すと1億5千万円しか残らない。一般会計から繰り入れるなどして基金を残しておくべきではないか。

〔事務局〕 補正予算で一般会計の繰入れも検討したい。市町村によっては、基金を使い果たして赤字補填のため法定外繰入を行っているところもある。そういったことも含めて国保制度改革が進められてきた。

〔委 員〕 国保料の滞納繰越の額は。

〔事務局〕 昨年度からの滞納繰越は約1億8千万円。

#### (4) 国民健康保険制度改革について

〔事務局〕 会議資料に基づき説明

##### 【質疑】

〔委員〕 国保の財政が県に移り、標準保険料を算定しても、市町村は個々に保険料を設定すると、市町村間の格差が残る。今と何も変わらないということか。

〔委員〕 何も変わらないかもしれないが、国保の都道府県の広域化というのは、保険料率を含めて格差を縮めていくよう長い経過の中でようやくたどり着いた。

料率などの問題もあるが、健康対策などについて市民に明らかにしていくことが大事ではないか。

〔事務局〕 国保財政としては医療費の削減のことばかり言うようだが、国保に限らず、健康寿命の延伸が一番の課題となっている。平成 30 年度は、国の次期医療計画などがスタートする年であり、2025 年問題に向けて病床数の問題や認知症対策などの対策がセットで進められる。

市においても、国保だけの問題でなく関係部局との連携を図りながら健康づくりなどの対策を進める必要がある。

〔委員〕 今年保健事業の予算が減っているが、もっと健康対策にお金を投入するべきでは。

〔事務局〕 保健事業費予算の減額の要因は、被保険者数の減等によるものであり、内容的には、健診受診の自己負担金を下げるなど、健診受診率の向上を図る努力をしている。

〔議長〕 次回の協議会の予定は。

〔事務局〕 例年であれば、来年の 2 月に開催する予定。

〔議長〕 県の作業部会の状況などについて、もう少し早めに国保制度改革の進捗状況等を報告してもらいたい。

〔事務局〕 10 月か 11 月頃に開催し、県との連携会議の状況等を報告したい。

#### 9 その他

(特になし)

#### 10 閉会